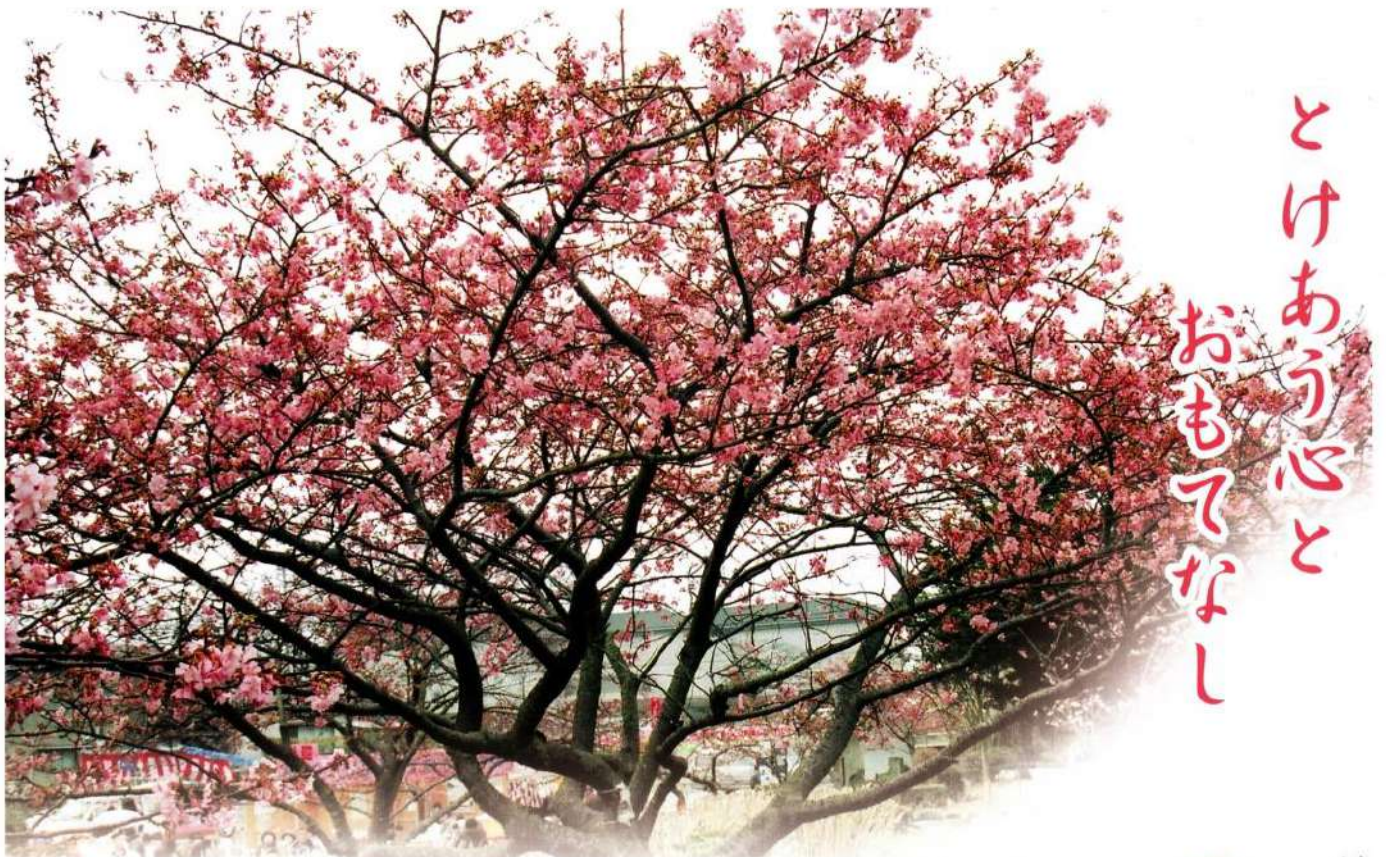


スコール

第55号

発行日 平成16年3月25日
発行 特定非営利活動法人
神奈川県レクリエーション協会
編集 広報委員会
事務局 〒221-0855
横浜市神奈川区三ツ沢西町3-1
神奈川県立スポーツ会館内
電話 (045) 320-2430
FAX (045) 320-0640
<http://www.kanagawa-rec.or.jp/>

心 豊 かに 遊 び も あ そ ぶ



とけあう心と
おもてなし

県レク・スクールの受講して



和泉福祉専門学校
校長 宮本和武

私が、県レク・スクールに参加したのは、課程認定校として有資格の専任教員が必要で、私自身が資格を取得するためであった。受講当初は、参加者は多才な人々で私自身が圧倒されるような印象を持ったが、温かく迎え入れ親切に対応されたように感じた。回を重ねるに従い、親しさが増し加わり、私たちの中にお互いに仲間であるという意識が生まれてきた。私自身の変化は、日頃関わっている人々とは異質なものの、新鮮な感覚で受けとめることができ、リラックスし、お互いに「〜さん」と呼び合う関係で、楽しい一時が持てた。

さて、今回の受講は、私が資格取得の意義を考える良い機会となった。レクリエーションで学んだことは、アイスブレイキングとホスピタリティといえる。つまり、目には見えないが、心の中に生きる力や勇気が与えられる。福祉の利用者は、心を開いて悩みや問題を打ち明けることが少なく、又、傷ついた心を持って福祉現場に辿りつく。社会福祉専門職者は、まず心からのもてなし、傷ついた頑なな心を開く援助ができることが求められている。私は今回の講座を終え、自ら情熱を傾けて取り組んでいる講師陣や多才な仲間と出会えたことは貴重な財産と実感した。

平成15年度

レクリエーション活動普及振興表彰

1月31日(土)に開催されました県レクリエーション協会の『新春のつどい』において次の方々が表彰されました。おめでとうございます。

氏名(アイウエオ順)推薦団体・主な役職
植松米子
県・民踊連盟
大磯町レク協会会長

江成米子

相模原市レク協会
相模原市レク協会副会長
相模原市レク協会員踊部長

飛田奈加子

相模原市レク協会
相模原市レク協会副会長
相模原市レク協会理事

長谷川忠信

横須賀市レク協会
県・インディアカ協会
横須賀市レク協会副会長
県・ユニカール協会理事

平川栄吉

川崎市レク連盟
川崎市レク連盟副会長兼理事
県・レク協会副理事長
県・ターゲット・

宮本公子

県・グラウンド・ゴルフ協会
(社)日本グラウンド・ゴルフ協会
指導者養成委員



▲左から植松・ひとりおいて飛田・長谷川・平川・宮本の各氏



江成氏

計報

飛田奈加子氏は三月六日に急逝されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

『新春のつどい』 開かれる！



1月31日(土)横浜・崎陽軒において『新春のつどい』が開催されました。第一部は、(財)日本レクリエ

ーション協会を初め神奈川県教育庁教育部スポーツ課などから大勢のご来賓をお迎えして、式典および功労者表彰式が行われました。

第二部は、おいしいお

料理に舌鼓を打ちながらの賀詞交換とともに、初めての催しとして、全員参加の「30秒間アピールタイム」が行われました。参加された各団体が、30秒間内で独創的なパフォーマンスを発揮され会場は爆笑の渦に包まれました。

そしてファイナルイベントは空くじなしのビンゴゲームで楽しいひとときを過ごしました。「楽しかった」「美味しかった」「会場が素敵」「駅前で便利」などの声が多く聞かれたつどいでした。

春 行楽シーズンは到来!

野も山も目覚め、動き出した日本の春！
さあー！外に出て、自然の素晴らしさを満喫しましょう。
今回は、皆さんも既にご存知かも知れませんが
4月～5月の県内の花の見頃と名所の紹介、
そして私の推薦コースのご案内です。

「4月～5月の花の見頃と名所」

4月上旬～4月中旬

カイドウ・光則寺（鎌倉市） シダレザクラ・長興山（小田原市）
ヤマザクラ・津久井湖園地周辺（津久井町）
ソメイヨシノ・相模湖畔（相模湖町）・最明寺史跡公園（松田町）
ミズバショウ・箱根湿生花園（箱根町）
チューリップ・横浜公園（横浜市）

4月上旬～5月下旬

ハマダイコン・毘沙門海岸（三浦市）

4月中旬～4月下旬

ナシ・川崎市フルーツパーク（川崎市） マメザクラ・精進池周辺（箱根町）
ヤマザクラ・陣場山頂付近（藤野町）
ツツジ・等覚院（川崎市）・湘南国際村（葉山町）
山のホテル（旧岩崎邸）（箱根町）

4月中旬～5月中旬

シバザクラ・伊勢原淡田川河畔（伊勢原市）
レンゲソウ・綾瀬城山れんげの里（綾瀬市）
ボタン・鶴岡八幡宮（鎌倉市）



4月下旬～5月下旬

フジ・小田原城址（小田原） レンゲソウ・長沼のレンゲ畑（厚木市）
シヤクナゲ・七沢森林公園（厚木市）

4月下旬～6月中旬

シヤクナゲ・強羅公園（箱根町）

5月上旬～6月下旬

クレマチス・県立相模原公園および市立相模原麻溝公園（相模原市）

5月上旬～7月上旬

ハマヒルガオ・海浜自然生態園および辻堂海岸（茅ヶ崎市）

5月中旬

シヤクヤク・フラワーセンター大船植物園（鎌倉市）

5月中旬～6月上旬

バラ・港の見える丘公園（横浜市）

5月下旬～6月下旬

サンショウバラ・駒ヶ岳山頂付近（箱根町）
ハナショウブ・横須賀市立しよぶ園（横須賀市）

私の推薦スポット

水郷田名 清流コースを歩く

野州・烏山藩の飛び地であった用水路の散歩道。5月のGWには河原一杯に鯉のぼりが泳ぎます。相模原ふれあい科学館など、みどころ一杯の水郷田名を一度歩いてみませんか？

推薦者

相模原市 磯 隆司



河原一杯の鯉のぼり

〔約2.5kmコース 所要時間約1時間〕

JR相模線・上溝駅からバス15分またはJR横浜線・淵野辺駅から30分いずれも望地キャンプ場行き

望地キャンプ場入り口下車

↓ 500m10分

望地弁財天

↓ 900m12分

高田橋

↓ 鯉や花を見ながら板の散歩道をゆっくりお楽しみ下さい 500m15分

田名八幡宮

↓ 200m3分

相模原ふれあい科学館

↓ 300m4分

水郷田名バス停

↓ バス

上溝駅または淵野辺駅

相模川ふれあい科学館

大人 300円 子ども 100円

9時30分～4時30分 月曜休

〈問い合わせ〉

相模原市観光協会

☎042-769-8236

第一線からの報告

レクリエーション活動報告

レクリエーション・インストラクター

座間市 伊藤 勇

現代は、仕事中心の生き方からゆとりある自由時間を楽しみや生きがいを求める新しいライフスタイルを持つ時代だといわれています。

そこで、私は五〇才になり生涯学習の一環としてレクリエーション・インストラクターやADL（日常生活動作能力）対応型高齢者体操の資格をとり仕事で知り得た知識を活用しながら「健康」と「生きがい探

し」の一助となればとの想いから活動しています。

ここで、この一年間の活動の一部をご報告させていただきます。

一、地域の方々とのふれあい

(一) さがみ野地区社会福祉協議会

中高年層を中心にハイキングを年四回、日曜日には近くの広場でグラウンド・ゴルフやペタンクを行ない親睦と健康づくりに努めています。

(二) 東地区文化センター（公民館）

センターでは、夏休みの一日を子供達に開放し、いろいろなイベントを行っています。私は、大ホ



ールでバスケットピンポンやバウンスボール等のスポーツを担当しました。

秋の文化祭では、ネット・バス・ラリー等十五種類のスポーツラリーを行いました。このときには、多くのインストラクター養成講座の受講生にお手伝いをお願いしました。

(三) 日レク支援で我が街を散策

座間市には、多くの湧水が点在しています。そこで、日レクの呼びかけにより先輩のコーディネーターが行っている「湧水をたずねて」等をテーマに市民と市内を散策する会の手伝いをしています。

二、小中学生とのふれあい

(一) 小学校の遊友クラブで手伝い

三校の小学校でマジックやグラウンド・ゴルフ等を行っています。



(二) 自然を歩く会
毎月一回、市内外の方々と山里や花の公園を散策しております。

三、その他のふれあい

(一) 施設でニュースポーツ等

知的障害者等、施設で働いている若者などと毎月三回、ペア・リング・キャッチやアイスコン等で一緒に楽しみながら運動をしています。

(二) 中学校の総合学習で共に学ぶ

中学校で行っている「総合学習」の時間で環境・福祉・平等をテーマ別に一年間自主学習をしています。

私は、水を中心にした環境問題について生徒と一緒に湧水や川の問題について学習しています。

知っていると得する話

有無手胸体操 ～腰痛・肩こりの緩和～

①～④までを3回、1日1回行う。

①あごを引いて、基本の足位置で横になる。膝は90度になるように曲げる。



②かかとを支点にしてつま先を起こし、膝頭の方向に親指を意図する。



③息を大きく吸ってゆっくり吐く。



④吐く息の終わる少し前に息を止め、「1,2,3」と数え、呼吸を元にもどし足先の力をストーンと抜く。



制作 大磯町健康福祉課 監修 橘高靖子

県レク協会公認講師

「更新講習会」開かれる!

県レク協会認定委員会主催による県レク協会公認講師更新講習会が1月11日(日) かながわ労働プラザと1月17日(土) 県民活動サポーターセンターの2会場で開催されました。

1回目は(財) 日本レク協会人材開発部の小田原一記部長、2回目は同じく組織部ディレクターの後藤剛彦さんを講師にお招きし、「レク・コーディネータを取り巻く各種制度への理解」などについてのご講演を頂いたあと、「支援実習を科学す

る」と題して中途半端になりがちな支援実習の展開についてグループに分かれて徹底的に研究しました。



全国一斉「あそびの日」キャンペーン

提唱

(財)日本レクリエーション協会
都道府県レクリエーション協会

● キャンペーンの名称

全国一斉「あそびの日」キャンペーン

● キャンペーンテーマ

笑顔でひらく 子どもの未来
● キャンペーンで実施する事業・活動

● 動の名称

各地で実施する個々の事業・活動
の名称とする。

● 例

全国一斉「あそびの日」キャンペーン参加事業

○町あそびフェスタ2004

● キャンペーン開催期間

2004年5月1日(土)

～5月31日(月)

※開催期間の前後半月以内の事業・活動であればキャンペーンの対象とする。

● 主催となる団体・グループ

(財)日本レク協会・都道府県レク協会

市区町村レク協会・(社)全国子ども

会連合会(予定)・日本レク協会

加盟団体

(日本協会・地域協会・支部など)
都道府県レク協会加盟団体・日本

《ニュースポーツ紹介》

「トス・ボール」

紹介者 横浜市 小林 薫

ホームベースの正面にトスマシーンを置いて、球審によるリモコン操作でトスされたボールを打者が打つ攻撃方法を取り入れた球技です。マシーンからはじき出された柔らかめのスポンジボールは緩やかな弧を描きながら一定な速度で常に「ストライク」、三球以内にフェアボールを打たなければ打者はアウトになります。

バットを持ったことのない児童やレク協会公認指導者養成課程認定校・日本レク協会公認指導者のグループ

● 全国後援(予定)

文部科学省・厚生労働省・総務省・全国市長会・全国町村会・(財)宝くじ協会

全国社会福祉協議会・国保連合会など

キャンペーンに関するお問い合わせ

先

全国一斉「あそびの日」キャンペーン事務局

電話 03・3265・1369

FAX 03・3265・1253



打つことが苦手なお母さんたちも安全に、打つ楽しみを味わうことができ、親子でプレーすることでお互いの実力を認識できるなど、親子のコミュニケーションが深まる機会になると感じました。

各イニングはスリーアウト制ではなく、全員が打席に立ちその間に何人がホームイン出来るかで得点を競うゲームです。

勝敗を分けるのは、野球同様「走・投・打」に優れた選手の多くいるチームです。

十一月に第五回神奈川県大会が保土ヶ谷軟式野球場で二十四チームが参加して行なわれました。茅ヶ崎、藤沢、三浦、鎌倉、など遠方からの参加も多く、珍プレー、好プレーあり、年々参加チームのレベルが上がっております。

講演報告

講師 大江浩氏

〔有資格者研修会〕

講演会

「レクリエーションと心のケア」

講師

横浜YMCA国際・地域事業本部長

大江浩氏



私は神戸YMCA（22年間）を経て、今横浜Yで国際協力と地域奉仕を担当している。

阪神・淡路大震災と神戸児童連続殺傷事件の現場で私が体験し、気づかされ学ばされ、問われ続けていることを皆さんと共に分かち合いたい。それは、主に3つのことである。

- ①災害（非日常）が浮き彫りにした、人の生き様・家族・絆（関係性）・地域社会の姿
- ②非日常に生かされる日常（体験の応用と社会化）の営み・在り様
- ③援助者への援助、子どもと心のケア、日常的な災害（児童虐待、DV）への関わり

6,433名の尊い命が失われたあの震災。それまで遠い問題だった「生」と「死」は、その瞬間（ほんの20数秒）から、私にとってリアルなものになった。1分1秒が分けた生と死―「命」の問題がそこにあった。私の人生は、一変した。「かげがえの無い身近な最愛の人との別れ」。「人はなぜ死に、なぜ生きているか」「その意味・価値は？」という根源的な問いが投げかけられた。

さて、「レクリエーション」そして「心のケア」ということ。災害後、震え、凍え、希望を失い、孤立孤独にさいなまれていく状況下で希望を取り戻し、癒されたのは、温かさ・ぬくもり・つながりであった。Recreation（再創造）、Care（大切にすること）は別々のことではなく、同じ地平にあった。ただし、ある被災者が「支えられること」が「頑張り」という言葉が「つらい」と語ったことは忘れられない。あくまで「こちら側」の論理に酔い、「その人の側」の思い、心根を理解していなかったことを反省した。震災後、1年半後に米国SFで研修を受ける機会があり、その時ある老人専門の精神科医から、「災害後の三つのT」というお話を伺った。災害後、最も大切なこと、それはTears（涙を流すこと）・Talk（語り分かち合うこと）・Time（時を与えること）だ。その精神科医は、更に「高齢者・障がいのある人にとっては『毎日が災害』なのだ」と印象深く語った。

震災後、「心の傷」や「心のケア」は流行り言葉となった。しかしCareということとCure（治療をする・癒す）を切り分けて考えたい。心の傷は、100人いれば100通り。心のケアも100通りに違わない。私たち専門家ではない者にできることは、その人の悲しみにそっと寄り添うことのみ。温かさ笑顔を失わず、「程よい温度」で人と接しつながらこの大切さと難しさを改めて思う。

私たちに求められていること。それは教科書ではなく、「体験」を通して「いのちの大切さ」を伝えること。なによりも「楽しさ」を見出し、活動を続けること。レクリエーションと心のケアの基本は、その楽しさ、「誰かと共につながっている」感覚にある。それはまさに「共に生きる」ということ。「平和・多文化・共生（響生）」―これからのキーワードとして心に刻みたい。

この掲載記事は昨年11月29日県民活動サポートセンターにおいて有資格者を対象にご講演されたものです。

『上手な会話』の

セオリー

今回は人間関係をよくするために「会話を上手に続けるためのセオリー」をご紹介します。

◆聞き上手の4原則◆

- ①相手に話させる（7・3）。
- ②相手の顔をみて聴く。
- ③終わりまで聴く。
- ④上手に相槌を打つ。

◆相槌の6パターン

- ①同意を表すもの。
例「はい」「そうです」
- ②同意を他の言葉で替える。
例「寒くなりましたね」「本当に冷えますね」
- ③先を促すもの。
例「それから」「それで」「疑問を投げかけたもの」
- ④疑問を投げかけたもの。
例「ウン」「ホントー」
- ⑤軽い驚きを表すもの。
例「へー」「びっくりしたー」
- ⑥自分の意見を軽く述べたもの。
例「よくやりましたね」

さあ貴方も実践してみましょ。きつと誰からも好かれる人になりますよー。

厚木市レクリエーション協会

会長 五味 一 昭

感動する事それは人の心をゆさぶる事だと思えます。3月県立厚木高校が全米チアダンス選手権'04年に招待された記事が出ました。昨年度市体育協主催の厚木スポーツ人の集いに御招きしました。躍動感に溢れ、難しい演技を見事に次々と演じるひたむきな姿に参加者一同感激の極みでした。全日本グランプリを獲得した功績を買われての御招待との話ですが日本高校生チームが海外に遠征するのは初の快挙だそうです。御活躍を心から御祈りして居ます。

伊勢原市レクリエーション協会

会長 市川 傑

今年は猿年人間のもっとも健康を考える年であると思えます。幸福の条件の一番目に上げることであり、各種団体の今後のあり方を変えるチャンスとも云える。女性を中心としたレクリエーション活動が活発であり男性の参加を進める一年にしたい。身体と心と経済の健康に向って個人個人の意識を高める研修と実践が行われることが求められる社会と思えます。少しでもそれに向って努力をしていきたい。

(地域・種目)団体 ネットワーク

話 和 輪 環

神奈川県インテア力協会

会長 加賀美長明

今年度の抱負

昨年、10周年を迎え今年には更に普及活動に向けて、県協会としても本腰を入れていかなければならないと考えます。先輩たちが立てた家(協会)に家族を増やすのが我々の役目であり、現下に40を越える市町村がありながら、現在の状況では県協会としても一抹の寂しさを感じざるを得ません。

ニユーススポーツの多様化により、インテア力かを更に普及していくには大変な時ではありますが、現役員が力を合わせ目標(協会増)に向かって頑張ります。まず、宜しくお願いを致します。

神奈川県スポーツチャンバラ協会

理事長 田村 勝 家

今年度の抱負

スポレク祭及びスポレク大会に参加してスポーツチャンバラの楽しみを大いに広めたい。

協会アピール

エアーツフトの道具を使用しているのでケガがなく、いたくないスポーツとして会員を増やしたい。

協会の中の名人

二〇〇三年度スポーツチャンバラ世界選手権グランドチャンピオン多田悟選手、二〇〇三年度全日本選手権グランドチャンピオン長谷部洋祐選手、二〇〇二年二〇〇三年少年チャンピオン田村勇樹選手

【事業報告】

《1/13/24分》

◆委員長会議

期日 2月6日(金)

場所 県民活動

サポートセンター

◆理事会

期日 3月6日(土)

場所 県立スポーツ会館

【委員会活動報告】

◆生涯スポーツ推進委員会

鎌倉市レク大会支援について

1/27 第9回委員会

ニユースポーツ

2/24 第10回委員会

◆組織化推進委員会

城山町のふれあい大会について

1/28 第7回委員会

2/25 第8回委員会

2/29 関係団体全体会議

3/24 第9回委員会

◆指導者養成委員会

16年度レク・スクールについて

1/13 第9回委員会

2/10 第10回委員会

3/7 第11回委員会

◆広報委員会

55号の発行について

1/13 第10回委員会

2/18 第11回委員会

3/4 第12回委員会

◆情報化推進委員会

ホームページの

2/28 第5回委員会

内容更新について

【事業予定】

《3/25/5/末 予定分》

◆城山町第3回

ふれあい

レクリエーション大会

期日 3月28日(日)

場所 城山町立川尻小学校

◆シンポジウム

「レクリエーション運動に

おける生涯スポーツとは」

期日 3月27日(土)

場所 かながわ労働プラザ

◆第2回総会

期日 3月27日(土)

場所 かながわ労働プラザ

◆インストラクター養成講座

5月23日(日)～10月3日(日)

延べ13回

◆広報紙55号発行

5月20日(木)

◆理事会

5月15日(土)

◆加盟団体事務局担当者会議

4月24日(土)

◆委員長会議

4月16日(金)



委員会活動 総括

各委員会とも任期（14・15年度）満了となりました。お疲れさまでした。アドバイザーと各委員会の委員長に総括して頂きました。

【アドバイザー】

佐藤 誠治

協会が特定非営利活動として精力的に取り組み充実した2年間でありました。

協会の目的達成のための2年間の各種事業も成果を上げて滞り無く終了する。これは会員一人一人が積極的に事業に参加し、各委員会のまとまりのある充実した活動と地域団体、種目団体、領域団体の連携、協力が体制がとれたことによります。

この協同システムを基盤にして、更に充実・発展するよう次年度からの取り組みが期待されます。

【生涯スポーツ推進委員会】

松岡 清臣

生涯スポーツの普及に力を注いだ14年度で、ニュースポーツセミナーを江の島と相模原で開催し、県協会に未加盟の種目を重点的に講習会で行い地域への定着化を図った。15年度は、県協会と市町村レク協会との連携に力を置き、9月に寒川町レク協会2月には鎌倉市レク協会への支援活動を実施した。7月に全国アウトドアマリンフェスタに参加した。

【組織化推進委員会】

国原 伸郎

昨年度に引き続き、「城山町・第3回ふれあいレクリエーション大会」を3月28日（日）に川尻小学校で開催します。今回は、これまでの協力団体の他に、体育協会の後援で「キンボール」、地元のスポーツ少年団の協力で「ユニカール」の新たな種目も加え、町民の皆さんの生きがいと健康づくりを願って開催します。

【指導者養成委員会】

小泉 八重子

レクリエーション・インストラクター養成講座「かながわレクスクー」を運営、この2年間で78名の方

が修了しました。委員6名がおもてなしの心で接し、楽しさの中に時には厳しさを持って、受講生と共に取り組みました。インストラクター資格取得後のフォローアップが、今後の課題だと感じています。

【広報委員会】

磯 隆司

委員を拝命して間もなく、記念号（50号）を発行することが出来ました。

直ぐさま、質的向上とコスト削減のため、印刷業者を変え、誌面の刷新と折込作業等の軽減を図りました。

また、イベント時の写真アルバム挿入、号毎の色刷り変更など、見やすさ斬新さ、内容の濃さを追求してきました。広範囲な情報収集と有効な情報の提供が課題です。

【情報化委員会】

井上 桂

◎成果としては、県レクホームページ運営ができた。県レク事業、レクスクール予告、広報「スコレ」53号の掲載など。

◎課題としては、HP作成ガイドラインの検討が必要。加盟団体の情報を掲載するためのフォーマット作り。掲載情報を、リアルタイムで更新する担当者（技術者集団）の増員及び研修。



日々の雑務に追われながらも、日ごろ、明るく楽しい事務局でありたいと目指して元気で頑張っております。そこで明るくスタッフの日頃の行動を紹介させていただきます。

会長…人柄の良さ、付き合いの良さから今日も、一杯飲みに行くか（実はウーロン茶）
理事長…いまだに鉄道少年？やっています。先日M線開通の一番電車に乗りました。

林さん…目下俊チャンの代理母として頑張っています。林さんのサポートも徐々に増加。

金石さん…朝から可愛い愛犬が脱出して、出勤するまで大変、若さで頑張っています。

桑島…知る人ぞ知る大宮方面に息抜きに、棒振りにかけて元気を維持皆様に愛される県レク事務局として一層の努力を致しますのでご指導の程お願い致します。

編集後記

任期最終号の発行となりました。振り返ってみれば、

僅か5号の発行でしたが、新理事長の温かいご指導のもと、多くの皆様方のご支援と委員の深い絆に支えられ、何とか役割を果たすことが出来ました。内容的に課題は残したものの、一体感とやりがい、そして充実感を体験した感謝の17ヶ月間でした。

磯 隆司